

令和 8 年 3 月 31 日

令和 7 年度 特別の教育課程の実施状況等について

茨城県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
鹿嶋市立中野東小学校（外 10 校）	鹿嶋市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の 公表ウェブサイト名・URL 等	学校関係者評価結果の 公表ウェブサイト名・URL 等
鹿嶋市立中野東小学校	<a href="http://www.kashima.ed.jp/~nakahiga-el/%e7%89%b9%e5%88%a5%e3%81%ae%e6%95%99%e8%82%b2%e8%aa%b2%e7%a8%8b%e3%81%ae%e5%ae%9f%e6%96%bd%e7%8a%b6%e6%b3%81">http://www.kashima.ed.jp/~nakahiga-el/%e7%89%b9%e5%88%a5%e3%81%ae%e6%95%99%e8%82%b2%e8%aa%b2%e7%a8%8b%e3%81%ae%e5%ae%9f%e6%96%bd%e7%8a%b6%e6%b3%81</a>	<a href="http://www.kashima.ed.jp/~nakahiga-el/%e7%89%b9%e5%88%a5%e3%81%ae%e6%95%99%e8%82%b2%e8%aa%b2%e7%a8%8b%e3%81%ae%e5%ae%9f%e6%96%bd%e7%8a%b6%e6%b3%81">http://www.kashima.ed.jp/~nakahiga-el/%e7%89%b9%e5%88%a5%e3%81%ae%e6%95%99%e8%82%b2%e8%aa%b2%e7%a8%8b%e3%81%ae%e5%ae%9f%e6%96%bd%e7%8a%b6%e6%b3%81</a>

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

これからの時代において必要とされるグローバルな視野をもった人材を早期から育成するため、小学校第 1 学年及び第 2 学年の生活科 20 時間を外国語活動に替えて実施する。

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

本市は常陸国一の宮鹿島神宮の門前町として栄え、発展してきた。また、2002 年には

FIFA ワールドカップの会場地となり、2021 年には東京オリンピックサッカー競技が開催された。歴史的伝統とスポーツによる活力あるまちであり、「Colorful Stage KASHIMA ~ひとあざやかに ひとつのまちに~」を本市総合計画における将来像に掲げている。世界の人々とのコミュニケーションをとおして、本市の魅力を世界に発信していくことができるグローバルな人材育成をより一層推進することが、本市の発展と教育活動の充実に必要であると考え、教育課程の特別措置申請を行うこととした。

(3) 特例の適用開始日

2007年4月

2018年4月 変更

(4) 取組の期間

2030年4月まで

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

○計画通り実施できている

・一部、計画通り実施できていない

・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

なし。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している  
 実施していない

<特記事項>

(1) 第1学年児童による評価

① 外国語活動の時間は、楽しいですか。			
楽しい	どちらかという と楽しい	どちらかという と楽しくない	楽しくない
52.0%	28.0%	16.0%	4.0%

② ALT と英語で話したり活動したりするのは楽しいですか。			
楽しい	どちらかという と楽しい	どちらかという と楽しくない	楽しくない
64.0%	12.0%	20.0%	4.0%

③ 英語を話せるようになりたいですか。			
話せるようになり たい	どちらかという と話せるようになり たい	どちらかという と話せるようになら なくてもよい	話せなくてもよい
80.0%	4.0%	4.0%	12.0%

④ 外国のことをもっと知りたいですか。			
知りたい	どちらかという と知りたい	どちらかという と知りたくない	知らなくてよい
56.0%	16.0%	12.0%	16.0%

(2) 第2学年児童による評価

① 外国語活動の時間は、楽しいですか。			
楽しい	どちらかという と楽しい	どちらかという と楽しくない	楽しくない
78.3%	17.4%	0%	4.3%

② ALT と英語で話したり活動したりするのは楽しいですか。			
楽しい	どちらかという と楽しい	どちらかという と楽しくない	楽しくない
76.1%	23.9%	0%	0%

③ 英語を話せるようになりたいですか。			
話せるようになり たい	どちらかという と話せるようになり たい	どちらかという と話せるようになら なくてもよい	話せなくてもよい
91.3%	6.5%	0%	0%

④ 外国のことをもっと知りたいですか。			
知りたい	どちらかという と知りたい	どちらかという と知りたくない	知らなくてよい
84.8%	15.2%	0%	0%

(3) 教職員による評価

① 第1学年からの外国語活動の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。			
思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	思わない
66.7%	33.3%	0%	0%

② 第1学年からの外国語活動の実施は、英語に慣れ親しむことにつながっていると思いますか。

思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
75.0%	25.0%	0%	0%

③ 第1学年からの外国語活動の実施によって、外国の文化(生活, 習慣, 行事等)に対する興味・関心が高まっていると思いますか。

思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
66.7%	33.3%	0%	0%

④ 今後も、市による英語(外国語活動)の取組を続けてほしいですか。

思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
66.7%	25.0%	8.3%	0%

(4) 保護者による評価

① 第1学年からの外国語活動の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
52.0%	44.0%	4.0%	0%

② 第1学年からの外国語活動の実施は、英語に慣れ親しむことにつながっていると思いますか。			
思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
62.0%	36.0%	2.0%	0%

③ 第1学年からの外国語活動の実施によって、外国の文化(生活, 習慣, 行事等)に対する興味・関心が高まっていると思いますか。			
思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
52.0%	32.0%	16.0%	0%

④ 今後も、市による英語(外国語活動)の取組を続けてほしいですか。			
思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
80.0%	18.0%	2.0%	0%

#### 4. 実施の効果及び課題

##### (1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

###### 【実施の効果】

1、2年生において外国語活動を導入した特別の教育課程を実施した結果、以下の効果があった。

- ・簡単な挨拶表現（Hello. やHow are you? I'm happy. など）や基本的な英単語（sunny やrainy など）が身に付いている。
- ・英語の動画を視聴し、身振りを交えながら英語を使うことで、日常生活の中でも知っている英語の表現を使う児童が見られた。
- ・ALT が話す簡単な言葉やチャンツを繰り返し聞くことで、英語の発音やリズムに興味をもつ児童が増えた。

###### 【課題】

- ・英語を話すことを苦手としている児童がいるため、その児童に対応した手立てが必要である。
- ・Small Talk を取り入れて実施しているが、自分が言いたいことを上手く伝えることができていない。

##### (2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

###### 【実施の効果】

- ・3、4年生の外国語活動では、ALT と一緒にTPR や英語の歌、チャンツなどの活動を行うことで、児童が進んで英語を話す姿が見られるようになった。
- ・外国語活動を通じて、外国の言語や文化などに興味をもつ児童が増えた。
- ・5、6年生の外国語科では、同一中学校区交流事業の一環として、自分たちが紹介したいものを英語で発表する活動を行った。児童同士での発表ではあったが、英語を抵抗なく話そうとする様子が見られた。

###### 【課題】

- ・Small Talk を取り入れて実施しているが、自分の伝えたいことを相手に伝えたり、相手

に質問したりするやり取りが続かない。

- ・英語の文字を正しく書き写すことに難しさを感じている児童が多い。

## 5. 課題の改善のための取組の方向性

- ・Small Talk の活動では、日常的に既習表現を用いる時間を確保し、繰り返し行うことで慣れ親しむようにする。
- ・英語を書き写す活動では、ただ書き写すのではなく、音声で十分に慣れ親しんでから書き写すようにする。教師と一緒に読んだり、指でなぞったりすることで、正しく書けるようにサポートしていく。
- ・児童が意欲的に外国語活動や外国語科の授業に取り組めるよう、ALT と十分に打ち合わせを行い、ゲームやペア活動、発表など、児童が楽しく英語を学べる手立てを考える。